

広報専門官ルイズの

地下鉄海岸線の旅

広報専門官ルイズが、沿線の魅力を発見し、発信する企画です



神戸を拠点としたスポーツといえば、サッカーやラグビーなどさまざまな競技があります。最終回となる今回は、サッカーとラグビーのホームスタジアムとなっている「ノエビアスタジアム神戸」を紹介します。

近い距離で試合が見られる! ノエビアスタジアム神戸

ノエビアスタジアム神戸は約3万人が入る球技専用の大きな競技場です。陸上のトラックがないので、客席からピッチまでの距離は短いところだと約6m!とても近い距離で試合を見ることができます。また、三宮から地下鉄で約10分、御崎公園駅からも徒歩5分で着くので、とても便利です。



ウイング ホームズ スタジアム神戸? ノエビア

2002年のFIFAワールドカップのときに造られたこのスタジアムの正式名称は「神戸ウイングスタジアム」ですが、ネーミングライツ(命名権)により2007年から2013年まで「ホームズスタジアム神戸」と呼ばれ、現在は「ノエビアスタジアム神戸」となっています。

スタジアム見学会に行こう! 無料

普段入ることができない、選手のロッカールームを見ることができ、ピッチサイドに立つこともできます。また、2002年のワールドカップのとき、当時のイングランド代表として来日していたデイビッド・ベッカムが座った席に座ることもできます。ぜひ、皆さんも参加してくださいね。



VIPな気分ですタジアムを回りました!

日時 4月22日、5月6・27日、6月10・24日(土)11:00~14:30(30分ごとに開催。申込不要)
5月6日(土)は、子どもの参加者に抽選で豪華な景品をプレゼントします。



神戸のサッカーチーム、ヴィッセル神戸

1995年に設立されたヴィッセル神戸。[VISSSEL(ヴィッセル)]という名前は、Victory(勝利)とVessel(船)をくっつけて作られた造語だそうです。ヴィッセルは神戸をホームタウン(本拠地)とするJリーグクラブで、神戸市のシンボルである六甲山の形がエンブレムにも取り入れられています。

3月4日の試合を観戦しましたが、大きい旗を振ったり、歌を歌ったり、熱く応援するサポーターたちの神戸愛が伝わってきました。2014年のワールドカップのときに、ごみを持って帰る日本のサポーターが



私も応援しました!

世界で話題になりました。今回、ヴィッセルの試合でも相手チームの選手がピッチに出たときに、サポーターが拍手をしていて、対戦相手を尊敬する気持ちが伝わり心に残りました。

ヴィッセル神戸とINAC神戸の無料観戦のお知らせ

サッカー ヴィッセル神戸市民応援デー

日 時 5月20日(土) 19:00~
申し込み 往復はがきに必要事項*(5人以内)を必ず記入して、楽天フットボールクラブ(〒652-0855 御崎町1-2-1)へ。5月8日(月)必着。抽選

☎スポーツ体育課 (☎322-5803、☎322-6149)

サッカー INAC神戸市民ファミリー応援デー

日 時 5月21日(日) 13:00~
申し込み 往復はがきに必要事項*(小・中学生含む5人以内)を必ず記入して、市スポーツ教育協会(〒651-0083 浜辺通5-1-14-55号)へ。5月7日(日)消印有効。抽選

☎市スポーツ教育協会 (☎261-3620、☎261-8020)
*必要事項…全員の住所・氏名・年齢(学生は学校名と学年)・電話番号

ONE POINT LESSON

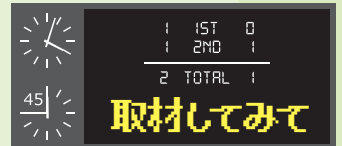
今回の英語は「キックオフ」。スポーツでは「試合の開始」という意味ですが、英語ではスポーツ以外の場合にも「(名詞)を始める」という意味があります。

アイウィル キック オフ トゥデイズ ミーティング

I will kick off today's meeting.
今日の打ち合わせを始めます。

ラグビーワールドカップ 2019の会場にも

ノエビアスタジアム神戸ではサッカーだけでなく、ラグビーの試合が行われることもあります。現在は、神戸製鋼コベルコスティーラーズのホームグラウンドになっているほか、2019年に日本で開催されるラグビーワールドカップの会場にもなっています。



私はサッカーとラグビーの発祥の地イギリス出身なのに、実は今回の取材で初めてスタジアムで球技の試合を観戦しました。近い距離で試合を見たり、最初から最後までサポーターの熱い声援を感じたりして、とても迫力がありテレビで見るのとは全く違いました。スポーツを見たことがない人でも、きっと楽しめるので、スタジアムの熱狂を体感してみませんか。



☎広報課 (☎322-5013、☎322-6007)

広報専門官 ルイズ・デンディ
イギリス生まれ。広報専門官として、外国人から見た神戸の魅力を発信中。

Read the English version:

Kobe City PR Specialist 検索

6月号から新しい企画がスタート。
お楽しみに!